



No.387 令和3年11月26日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人 会長 舟久保利明
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: http://www.ootakoren.com/
印刷所
東京都大田区中央8-5-1
電話(3752)3391
城南印刷工業株式会社



アンガーマネジメントセミナーで、怒りのコントロール方法を学ぶ受講者たち

「アンガーは『怒り』、マネジメントは『後悔しないこと』。アンガーマネジメントは怒らないことではなく、怒る必要のあることは上手に怒り、

『アンガー』は『怒り』、マネジメントは『後悔しないこと』。アンガーマネジメントは怒らないことではなく、怒る必要のあることは上手に怒り、

『アンガー』は『怒り』、マネジメントは『後悔しないこと』。アンガーマネジメントは怒らないことではなく、怒る必要のあることは上手に怒り、

『アンガー』は『怒り』、マネジメントは『後悔しないこと』。アンガーマネジメントは怒らないことではなく、怒る必要のあることは上手に怒り、

『アンガー』は『怒り』、マネジメントは『後悔しないこと』。アンガーマネジメントは怒らないことではなく、怒る必要のあることは上手に怒り、

『アンガー』は『怒り』、マネジメントは『後悔しないこと』。アンガーマネジメントは怒らないことではなく、怒る必要のあることは上手に怒り、

『アンガーマネジメントセミナー』開催 怒りをコントロールして仕事に活かす

ついカッとなって発言し、冷静になつてから後悔するー。

程度之差こそあれ、誰でも1度や2度、そういった経験はあるだろう。突発的な怒りは、友人関係や夫婦関係にヒビを入れてしまうが、ビジネスの場合、悪影響はさらに甚大だ。衝動的に怒ることで職場の雰囲気は悪くなり、立場によってはパワーハ

ラスメントになつてしまう。

今回、大田区と大田工業連合会が開催したのが、この「怒り」の正体を理解し、コントロールしようという「アンガーマネジメントセミナー『入門編』」だ。11月5日(金)18時から20時まで、大田区産業プラザ6階C会議室で開かれた。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため抽選制とし、13名が参加。講師は、「人材総合プロデューサー」として企業・官公庁などの組織で「人」に関する課題解決をサポートしている株式会社アル&キャリアの専属講師、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会のアンガーマネジメントコンサルタントである下村透百香氏が担当。セミナーはグループディスカッションを交える形で進行した。

怒る必要の無いことは怒らないようになることだ」と語る下村氏。

「私たちが怒らせるものは、自分がこうあるべきだと考える『理想』と『現実』のギャップです。『子供は親の言うことを聞くべきだ』『年長者は敬われるべきだ』『夫は家事育児を分担するべきだ』など、皆さんが信じている理想、言い換えれば、常識、価値観が裏切られるから、怒るのです。肝心なことは、この『べき』は皆それぞれ持っているし、人それぞれ違うということを理解することです。皆さんの『べき』を相手に押しつけてしまうと、行き違いが生まれ、怒りが生まれる原因になります」

「アンガーマネジメントで学んで欲しいのは、『衝動のコントロール』、『思考のコントロール』、『行動のコントロール』です。衝動のコントロールとは言われたことやされたことに反射的にカッとならないこと、思考のコントロールとはされたことに対する怒るべきか否かを考えること、行動のコントロールはその怒りをどう伝えるか、です。衝動をコントロールするには、ムカッとした時に6秒時間置いてください。時間を置くと理性が介入し、少し落ち着きますから。6秒の間は自分の『怒りの温度』を測るのが良いでしょう。自分が怒っているのが過去に比べてどれくらいかと考えていると、6秒はすぐに経ってしまいます」

「次は思考のコントロールについて考えてみましょう。人間には『許せるゾーン』と『許せない(怒る)ゾーン』があります。その間に『まあ許せるゾーン』があります。まあ許せるゾーンとは、自分とは違う価値観だけれど許容してもいいか、と思えるゾーンです。まあ許せるゾーンは機嫌によって日々変動しています。自分の中で明確に持つようにすることが必要です」

「最後に行動のコントロールです。怒ると決めたのなら、自分が関わったり行動したりすることで状況が良い風になるかどうかを考えなくてはなりません。自分にとっても他人にとっても、長期的に見て状況が良くなるのであれば怒っても良いでしょう。状況が変わらないのであれば、変わないことを受け入れるか、現実的な選択肢を探す必要があります」



株式会社アル&キャリアの専属講師である下村透百香氏

価値観は人それぞれ違う、頭では皆理解しているものの、グループディスカッションを通じてその事実

を『見える化』したことは参加者にとって大きな収穫だった。同セミナーに参加したフルハートジャパンの國廣愛彦社長は「最近、仕事や運転をやっていてイライラすることが増えており、不機嫌でいると仕事も楽しくない。仕事を楽しくするために今回のセミナーに参加した。今までは、相手に本気を伝えるために『あえて怒る』こともあったが、それをやってはいけない、相手にキチンと理解してもらわないといけないと分かった」と感想を語った。

【令和3年度優良従業員表彰者】

10月26日(火)開催の当会正副会長会において左記7名の方の受賞が決定しました。おめでとございませう。

有我久雄

技術部員
株式会社三桂製作所

辻口敬一郎

技術部員
株式会社三桂製作所

圓谷裕子

管理部門総務チーム主任
日本電機株式会社

上野勝紀

栃木工場製造部
株式会社昭和製作所

小薬孝彦

栃木工場工場長
株式会社昭和製作所

瀬尾忠弘

栃木工場営業部
株式会社昭和製作所

譜久山嘉誓

技術顧問
株式会社三栄精機工業



G-ZEROの高速造形に興味深く見つめる来場者

極東精機製作所、安久工機など4社 10倍速3Dプリンタ開発

極東精機製作所、モノづくりベンチャーのグーテンベルク、安久工機、久宝金属製作所（大阪市）で構成する中小企業グループ「3DXs（スリーディーエクシズ）」は、市販品の10倍の造形速度を誇る樹脂3Dプリンタ「グーテンベルクゼロ（G-ZERO）」を開発。10月29日、31日に大田区産業プラ

ザ（PiO）で完成披露会を開催した。
G-ZEROは、ヘッドの最高到達速度が毎秒約500ミリメートル、加速度は2万ミリメートル毎秒毎秒。精密板金加工など町工場の技術を駆使し、強靱な筐体を製造したことで、ハイスピードでもプリントヘッドがぶれずに精密な加工を実現した。造形速度、加速度ともに一般的な3Dプリンタの5倍から10倍の早さとなる。造形可能サイズは横約250ミリ×前後約210ミリ×高さ約200ミリメートル。本体サイズは横430ミリ×縦400ミリ×高さ460ミリメートル。本体重量は30キログラム。

極東精機製作所の3階に入居するグーテンベルクの李丞株社長が開発を着想し、3社に共同開発を持ちかけて完成に至った。グーテンベルクは事業の核として設計・製造・販売を担当し、安久工機と久宝金属製作所は設計支援を、極東精機製作所が製造を担当した。

極東精機製作所、グーテンベルク、安久工機、久宝金属製作所の4社はG-ZEROの開発・販売にあたり、3DXsというチームを結成。3Dプリンタの3D、デジタルトランスフォーメーションのDXを組み合わせたほか、「3D」には、3つのD「Dimensional（次元）」「Digital（デジタル）」「Democratic（民主主義）」を追求したいという想いを込めている。

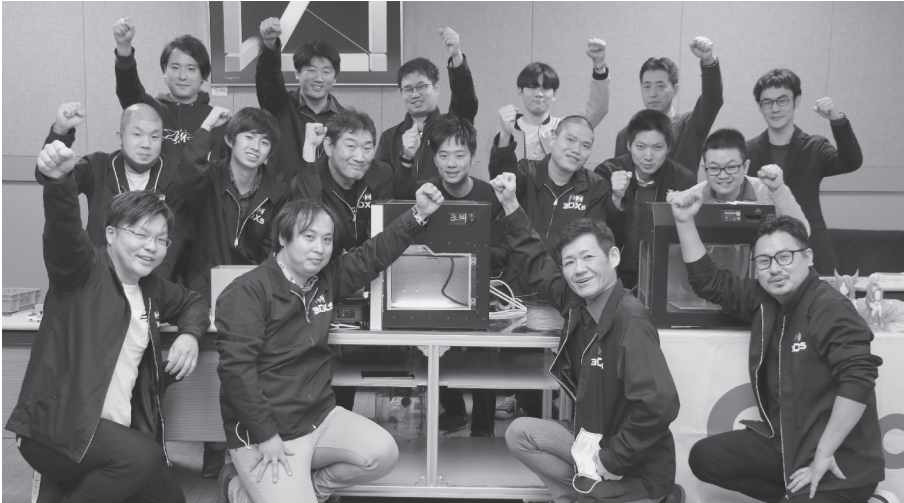
4社は2022年2月から、それぞれの販路を通じてG-ZEROを販売していく予定だ。企業

のほか教育機関、研究機関などを販売ターゲットとして想定している。価格はグーテンベルクによるサポート込みで100万円（消費税抜き）。年間100台の販売を目指す。

10月29日、31日に大田区産業プラザの3階特別会議室で完成披露会を開催した。29日は企業が、31日は企業と個人向けに開催。新型コロナウイルスの感染防止の観点から来場予約制での開催となった。両日とも満員で、29日は予

約の2倍となる約80人が来場。31日も、あいにくの雨にもかかわらず、予約を上回る人が訪れた。来場者は高速造形するG-ZEROを実際に眺めつつ、その性能に驚嘆していた。職場で3Dプリンタを使い個人でも3Dプリンタを所有しているという堀内雄登氏は「Twitterなどで情報は得ていたが、改めて造形スピードに驚いた。価格も妥当ではないだろうか。職場で使うなら安全対策やメンテナンス性などを改めて検証しなくてはならない」と語った。

今後の展開につい



大田区発で製造業の改革を目指す3DXs

て極東精機製作所の鈴木亮介社長は「両日とも、予想以上の人が来場頂き驚いた。今後は展示会などでG-ZEROをPRし、2月の発売に向けた準備をしたい。まだ構想段階だが改良型のG-I（仮称）についてもメンバーで話し合っていきたい」とコメント。グーテンベルクの李社長は「G-ZEROをきっかけに設計者と加工者をつなげる仕事をしていきたい」と意欲を見せた。

安久工機の田中宙常務は「来場者の熱気にびっくりした。今後は量産設計も手伝っていく」と、久宝金属製作所古川多夢代表取締役は「関西のお客さんに売っていくが、拡販を急いではない。あくまで質を追い求め、お客さんの役に立つ商品でありたい」とそれぞれ展望を語った。

ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します

大田区では、令和4年1月26日(水)に企業向けワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します。本年度の講演会は、オンラインで開催しますので、職場やご自宅で気軽にご参加いただけます。

新型コロナウイルス感染症をきっかけに生活様式や働き方が大きく変化したことで、ワーク・ライフ・バランスのあり方も変化しています。コロナ禍の中での働き方やワーク・ライフ・バランスを実

践するためのヒントなど、区内で活躍されている社会保険労務士を講師にお迎えしてお話しいただく予定です。

講演のテーマや申込方法、参加方法などは今後、区のホームページやチラシなどでお知らせします。ぜひご参加ください。

▶問合先 大田区 総務部 人権・男女平等推進課
電話 03-5744-1610

HANEDA INNOVATION CITY 1st ANNIVERSARY 羽田スマートシティEXPO 2021 開催



ロボットの動きは来場者の注目を集めた

羽田スマート
シティEXPO
2021では、運
搬・警備・コミュ
ニケーションロ
ボット、スマート
モビリティ、A
R（拡張現実）サ

も会場内を練り歩
き、来場者から黄
色い歓声を浴びて
いた。

羽田で近未来を体験し、
2021年11月5日、6日、7日、
京浜急行電鉄空港線「天空橋」駅
直結の産業振興拠点「羽田イノベ
ーションシティ」の開業1周年記念
イベントとして、羽田スマートシ
ティEXPO2021（主催：羽
田みらい開発、協賛：城南信用金庫、
後援：大田区）が開催された。

羽田イノベーションシティ
は、町工場を中心とした大田区
のテクノロジーや日本の文化を
地方や海外と結びつけ、イノベ
ーションを創出することを目指し
て整備された大規模複合施設。
2020年7月に開業したが、コ
ロナ禍により出店延期が相次ぎ、
活動も大きく制限されてきた。最
近は、大田区と大田区産業振興協
会の「HANEDAXPIO（ハ
ネダピオ）」や城南信用金庫の「よ
い仕事おこしプラザ」、さわやか信
用金庫の「ビジネスマッチングセ
ンター」が活動を活性化している
ほか、ライブ会場「ZEP H
aneda（TOKYO）」の稼働
もあり、人通りが多い日が出てき
ている。今回のイベントは羽田イ
ノベーションシティの開業1周年
を記念し、同地が持つヒト・モノ・
情報の交流・発信機能を改めてP
Rした。

5日の開催に際し、主催者で
ある羽田みらい開発の山口皓章
社長は「開業してから1年間、羽
田イノベーションシティは低空
飛行が続き本当に大変だったが、
皆様のおかげで乗り切ることが
できた。1年経って羽田スマート
シティEXPO2021を開催
することができ、本当に感無量
だ」とあいさつした。同日、羽田
イノベーションシティを訪れて
いた野田聖子内閣府特命担当大
臣（地方創生）から「これから
羽田空港を地方創生に役立てて
いきたいと言われた」と述べる
山口社長。「モビリティや自動
運転、ロボットなど先端技術を、
地方に世界に発信していきたい。
羽田イノベーションシティ自体
も発展し続けていきたいので皆
様にはPRで協力頂きたい」と
語った。

イベントの開催にあたっては、
同地で実証実験を行うロボット
が勢揃いしたほか、千葉県のこ
当地キャラクターである「チーバ
くん」、熊本県の「くまモン」、地
元・大田区の女子バスケットボ
ールチーム、東京羽田ヴィッキ
ーズのマスケットキャラクター「
ヴィッキちゃん」も参加。全員
で拳を突き上げ、イベントの成
功を祈った。3キャラクターはそ
の後

ビス、防災技術などの「スマート
技術実証実験」、先端技術により
人間の能力を超越したスポーツを
楽しむ「超人スポーツEXPO」、
ドローンのプログラミングなどを
通じてものづくりや課題解決を学
ぶ「羽田イノベーションキッズ
ラボ」、日本各地の食や伝統芸能を
発信する「HANEDA日本文化芸
術体験」の4カテゴリーでイベン
トを構成。好天に恵まれたことも
あり、ビジネスマンや地域住民な
ど多数の来場者が訪れた。

スマート技術実証実験として、
羽田イノベーションシティの店舗
を紹介する「案内ロボット」や大
田区の中小企業が開発した「搬
送ロボット」、屋外を巡回警備す
る「警備ロボット」などのロボッ
トが会場の各所でデモンストレー
ションを実施した。規律正しく動
くロボットの姿や、四足歩行や戦
車のような無限軌道（クローラー）
で階段を上り下りする動きは、来
場者の注目を集めた。

コミュニケーションロボット
や、服薬支援ロボットも展示。柔
らかい手でパチパチと拍手する拍
手ロボット「ビッグクラッピー」
を見て、子供たちは笑みを浮かべ
ていた。自動運転バスも羽田イノ
ベーションシティ内を走り回り、
ロボットが導く未来の世界をデモ
ンストレーションしていた。

超人スポーツEXPOでは先
端技術により人間の身体能力を超
えた動きを体験し、多様性や協調
性を考えるのがテーマ。巨大ロ
ボットのようなからくりを操る
「スケルトニクス」などに子供達
の注目が集まった。

オープンスペースでは、日本
全国の自治体が出店を出し、野菜



開業1周年を祝う主催者たち

や果物、菓子や工芸品などのお土
産の直売会を開催した。各ブース
ではお土産が好調な販売で、コロ
ナ禍で失われた販売機会を喜ぶ姿
が目立った。城南信用金庫が、全
国の信用金庫の連携による日本酒
「絆舞」の完成披露会を開催した
こともあり、日本酒を買い求める
お客も多かった。

羽田イノベーションシティに出
店するバル「羽田スカイブリュ
イング」では、地元の遺跡である
「大森貝塚」をテーマにしたクラ
フトビールが披露目された。

そのほかチアリーダーによる
パフォーマンスやアクロバットの
パフォーマンス、羽田空港沖のク
ルーズイベントなど、多彩なエン
ターテインメントで来場者をもて
なし、3日間のイベントは終了し
た。

緊急事態宣言は明けたが、経
済活動の不透明感や、感染第6波
への警戒もあり、人々はすっきり
しない気持ちのまま日々を過ごし
ている。人と人が触れあい交流し、
知的好奇心を刺激する羽田スマ
ートシティEXPO2021は、久
しぶりにホッとすると、暖かいイ
ベントとなった。

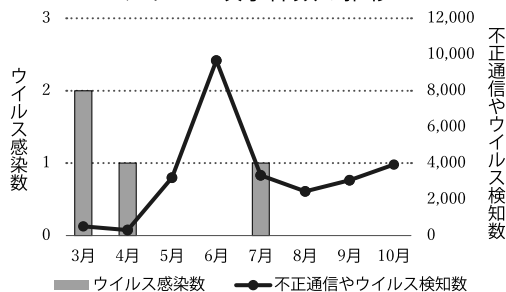
〈〈〈 会員企業へのサイバー攻撃状況 〉〉〉

PCとネットワークの監視サービスをご利用中の当会会員企業30社における「サイバー攻撃件数の推移」に示される通り、10月のサイバー攻撃件数は約4,000件（1社平均4.4件/日）です。同様の監視サービスを他地域で54社（業種問わず）にご利用いただいたときのサイバー攻撃件数（1社平均3.9件/日）と比較しても、依然として高い攻撃を受けている水準にあると言えます。

また、東京オリンピックのような大規模国際イベントには、開催期間中に組織委員会に対してサイバー攻撃が集中する傾向があり、今回のオリンピックでは4.5億件のサイバー攻撃があったと報告されております。当会へのサイバー攻撃は、オリンピック前に増加した傾向にありオリンピック関連の前兆としての攻撃を受けた可能性があります（全て遮断しており実害はございません）。

今後、年末年始にかけてサイバー攻撃が急増する恐れもあるため、不審なメール等には引き続きご注意ください。

サイバー攻撃件数の推移



事務局から
第12回



今号で取り上げた「3Dプリンタ開発」は、スタートアップ企業と当会会員企業との連携による製品づくりの先進的な好事例です。事務局も完成披露会に参加させて頂きましたが、3Dプリンタの前には常に人だかりが出来て大いに盛り上がっていました。

時を同じくして、創業支援施設「六郷BASE」と羽田イノベーションシティ内に、交流空間「P i O P A R K」がオープンするなど、益々ものづくり企業とスタートアップ企業との連携に期待が高まります。その連携を後押しするように大田区産業振興協会では、「ユナイト助成事業」を開始しました。スタートアップ企業が、試作・開発の依頼・発注を区内企業に対して行う場合に助成するもので、この事業を通じて、スタートアップ企業が有する付加価値の高い案件を大田区内に呼び込むとともに、大田区企業の受注増加・販路拡大及び技術力の向上を図ることを大きな目的の一つとしています。

会員企業の皆様におかれましては「六郷BASE」と「P i O P A R K」に直接足を運ぶことで、様々な可能性と結びつき（ユナイト）新たな製品づくりのきっかけにしていいただければ幸いです。

Report
第4回 まちこうばがやってくる！ 2021
働く場所としてのまちこうばの展示会

開催レポート

おおたこまプロジェクトは11月3日、大田区消費者生活センター2階大会議室で、「第4回まちこうばがやってくる！2021働く場所としてのまちこうばの展示会 ～町工場と一緒に働きませんか～」（共催：大田区、（一社）大森工場協会、おおもりまちづくり協議会）を開催した。

開会にあたり、大田工業連合会、同青年部監事の関英一氏（関鉄工所社長）があいさつ。「コロナ禍もあって、久々の開催となりました。それぞれ自社をPRし、町工場に就職する人が増えてくれれば」と期待を語った。

上田製作所、エポゾール、三陽機械製作所、昭和製作所、関鉄工所、善大工業、東蒲機器製作所、トキワ精機、平川製作所、ムソー工業（五十音順）の10社がブースを出展。各社は自社製品や加工品のサンプルを並べたり、PR動画を流すなどして、自社をアピールした。天候に恵まれたこともあり、会場は学生や求職者など多くの人で賑わった。各社の主な展示内容を紹介する。

関鉄工所のブースでは、大型機械部品のサンプルを展示。ブースを訪れた六郷工科高校デュアルシステム科の長谷川楽主くんが「入社前に取った方が良い資格はありますか」と質問すると、関社長は「資格を取ることで会社選択の幅が狭まってしまうこともありうる。入社後に資格を取っても良い」とアドバイスしていた。

トキワ精機は、自社商品の油圧継手「まるみ君」を紹介。地元の幼稚園に通う松澤弥白くんは、鋼管から曲げ加工や切削を施して油圧継手になる一連の加工を表現した展示を眺め、「おもしろい」と歓声を上げていた。

エポゾールは、独自技術であるディップ成形を施したサンプルを並べた。ディップ成形は予熱した金型を樹脂の中に入れて成形する技術で、ガソリンスタンドの給油ノズルのカバーなどに使われ

ている。今回は、ディップ成形を施した貝殻や、小物入れなどを展示し、来場者の注目を集めた。

善大工業は3Dプリンタで加工した、からくりおもちゃを並べ、モノづくりの面白さと楽しさをPR。福富善大社長は「まちこうばがやってくる！には初回から参加している。回を重ねるごとに規模が大きくなっていることに驚いている」とコメントした。

パイプ曲げで建設機械部品を製造している平川製作所の柳沢重幸社長は「前回のまちこうばがやってくる！をきっかけに、20歳の人が入社してくれた。コロナ禍が始まって、高齢社員がやめてしまったときに、その人が後を継いでくれたので技能伝承もできた」と、同イベントの成果を披露した。

ムソー工業は女性二人がブースに立ち、疲労試験片などのサンプルを展示して自社の事業をアピール。尾針円取締役は「皆さんが話を熱心に聞いてくれて嬉しい。採用につながれば一番だが、そうでなくても自社のことが伝わるだけでありがたい」と参加の狙いを語った。

東蒲機器製作所は切削加工した部品を、三陽機械製作所はコンプレッサーに使われている自社部品を展示。上田製作所の上田大輔社長は、自社の事業を紹介するパネルを並べ、町工場の魅力と実力を発信していた。



4回目となるまちこうばがやってくる！は、学生や求職者で賑わった。

やさしい図面の見方講座(2回目)

当講座では、日本工学院専門学校様のご協力をいただき、図面の役割、投影の方法各種記号など図面を見る上で基礎となる知識を習得します。

日時 令和4年2月15日(火)・16日(水)・17日(木)・21日(月)・22日(火)(全5日間)※講座時間はいずれの日も午後6時30分から9時30分です。
対象者 金属加工業や機械工業等に従事し、図面に関する基礎的な知識の習得を必要とする方
※原則として大田区在住または在勤の方を対象とします。

会場 日本工学院専門学校 蒲田キャンパス 大田区西蒲田5-23-22 (JR蒲田駅西口より徒歩3分)
講師 日本工学院専門学校 斎藤先生 他
定員 40名(抽選制)

受講料 会員：5,000円・非会員：6,000円(いずれも教材費等込)
申込〆切 令和4年1月21日(金)
申込・問合せ先 専用の応募用紙にてお申込み下さい。
応募用紙は大田工業連合会にお問合せの上入手して下さい。

当会のホームページからお申し込み頂けます。
ホームページ <https://ootakoren.com/>

